

令和5年度

琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

学生募集要項

（理学系）

一般選抜（第2次学生募集）

出願期間	令和5年 1月16日（月）～1月20日（金）
試験日・面接日	令和5年 2月16日（木）・17日（金）
合格者発表	令和5年 3月 3日（金）

社会人特別選抜（第2次学生募集）

出願期間	令和5年 1月16日（月）～1月20日（金）
試験日・面接日	令和5年 2月16日（木）・17日（金）
合格者発表	令和5年 3月 3日（金）

社会人特別選抜（第2次学生募集：現職高校教員）

出願期間	令和5年 1月16日（月）～1月20日（金）
試験日・面接日	令和5年 2月16日（木）・17日（金）
合格者発表	令和5年 3月 3日（金）

外国人留学生特別選抜

出願期間	令和5年 1月16日（月）～1月20日（金）
試験日・面接日	令和5年 2月17日（金）
合格者発表	令和5年 3月 3日（金）

※ 新型コロナウイルスの感染拡大によっては、選抜方法の変更や日程の繰り下げも考えられます。
更新情報は、変更の有無を含めて、理学部Webサイト (<https://www.sci.u-ryukyuu.ac.jp>) に
掲載又は入学志願書に記載のある志願者の連絡先へお知らせしますので随時確認をお願いします。

琉球大学大学院理工学研究科博士前期課程各専攻の

人材の養成及び教育・研究上の目的

専攻	人材の養成及び教育・研究上の目的
数理科学専攻	数理科学領域の教育・研究を通して、現代社会に貢献できる高度な専門知識及び能力を持つ人材の養成を目的とします。
物質地球科学専攻	物理学・地球科学及び関連領域の教育・研究を通して、学問の深化と科学技術の発展に寄与し、広い視野と高度な専門知識を持った人材の養成を目的とします。
海洋自然科学専攻	琉球列島の豊かな自然環境が持つ特色を最大限に生かし、化学・生物学及び関連領域の教育・研究を通して、基礎から応用に至る高度な専門的能力と広い視野を兼ね備え、地域及び国際社会に貢献できる人材の養成を目的とします。

目 次

[一般選抜，社会人特別選抜，社会人特別選抜（現職高校教員）及び外国人留学生特別選抜]

1	専攻，講座及び募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願期間	4
4	出願手続	4
5	出願に関する注意事項	7
6	出願書類請求，問い合わせ及び提出先	8
7	入学者選抜方法	8
8	受験に関する注意事項	9
9	合格者発表	9
10	入学手続	9
11	長期履修制度について	10
12	個人情報の取り扱い	10
13	理工学研究科社会人特別選抜について	11

入学案内添付資料

専攻別試験科目の主な出題範囲	12
琉球大学大学院理工学研究科概要	13
琉球大学案内図	14
試験場案内図	15

入学志願書等

琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

数理科学専攻

数理科学専攻では、次のような人を求めています。

- （１）学士としての確かな基礎学力を有する人。
- （２）数理科学における基礎学力を基に、さらに進んだ分野の研究に取り組む意欲を有する人。
- （３）現代社会における諸問題に対して、数理科学を応用して解決する意欲を有する人。
- （４）修得する専門的知識をわかりやすく伝える論理的説明を行うことができ、さらにその能力を伸ばし、教育現場をはじめ、様々な場面において活用することを望む人。

物質地球科学専攻

物質地球科学専攻では、次のような人を求めています。

- （１）物理学あるいは地球科学の専門教育を受ける上で十分な基礎学力を備えた人。
- （２）物理学あるいは地球科学、それらの関連領域の教育と研究を通して、自然科学の普遍的知識や考え方を身に付ける意欲のある人。
- （３）高度な専門性と独創性を備え、科学的な広い視野を持つ研究者、教育者、専門的技術者等を目指す人。

海洋自然科学専攻

海洋自然科学専攻では、次のような人を求めています。

- （１）化学・生物学及び関連領域の高度な専門的知識、実験技術並びに調査手法を積極的に深く学ぼうとする人
- （２）琉球列島の豊かな自然についての探求から、より一般的な自然について発展的に理解したい人
- （３）専門的な知識や実験技術、調査手法を活かして、広く社会において交流し、地域及び国際社会に貢献したい人

理工学研究科（博士前期課程） （理 学 系）

一般選拔（第2次学生募集）

（数理科学専攻，物質地球科学専攻）

社会人特別選拔（第2次学生募集）

（数理科学専攻，物質地球科学専攻）

社会人特別選拔（第2次学生募集：現職高校教員）

（数理科学専攻，物質地球科学専攻）

外国人留学生特別選拔

（全 専 攻）

1 専攻，講座及び募集人員

(1) 一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

専攻名	講座名	募集人員
数理学	基礎数理学，数理解析学，情報数理学	5名 (社会人若干名含む) 外国人留学生 若干名
物質地球科学	(物理系) 物質基礎学，物質情報学 (地学系) 海洋地圏科学，海洋水圏科学	12名 (社会人若干名含む) 外国人留学生 若干名
海洋自然科学	(化学系) 分子機能化学，解析化学，海洋化学 (生物系) 進化・生態学，熱帯生命機能学，海洋生物生産学， 熱帯生物科学	外国人留学生 若干名

(2) 社会人特別選抜（現職高校教員）

専攻名	講座名	募集人員
数理学	基礎数理学，数理解析学，情報数理学	若干名
物質地球科学	(物理系) 物質基礎学，物質情報学 (地学系) 海洋地圏科学，海洋水圏科学	若干名

特別な措置

(2) 社会人特別選抜（現職高校教員）の入学者は，2年間（標準修業年限）の授業料を免除します。ただし，長期履修制度を活用する場合は，計画的な教育課程の修業年限として認められた期間の授業料を免除します。

2 出願資格

(1) 一般選抜

次の①～⑥のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学位を授与された者）及び令和5年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関

係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号参照)
- ⑨ 大学に令和5年3月31日までに3年以上在学見込みの者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和5年3月31日までに22歳に達する者

※ 一般選抜に出願予定の者で、現在有職であるか、もしくは入学後有職となることが予定されている者は、令和5年1月13日(金)までに必ず志望専攻の予定指導教員と面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

(事前審査)

⑨⑩により出願する者は、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

書類提出期間	令和5年1月4日(水) ~ 令和5年1月6日(金)
書類提出先	理学部学務係(理学部本館C217)

※出願資格審査の結果は、令和5年1月13日(金)付けで本人宛に通知します。

◎ 必要書類

出願資格⑨	
1	事前審査申請書
2	成績証明書(最新のもの)
3	在学証明書
4	履修手引き(授業内容一覧および卒業要件が記載されたもの)

出願資格⑩	
1	事前審査申請書
2	最終出身学校卒業・修了証明書
3	最終出身学校成績証明書
4	研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む) なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付してもよい。 ※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、令和5年3月31日までに22歳に達するもの」を含む。

⑨の出願者は次の(イ)、(ロ)の条件を両方とも満たす者とします。

(イ) 在学期間について

令和5年3月末において、大学在学期間が3年間に達している者(休学期間は、在学期間に含めない)。

又は、外国において15年の課程を修了している者。

(ロ) 学業成績について

出願時点において、修得する必要がある科目の全てを修得し、かつ専攻ごとに定める条件（別表参照）を満たす者。

なお、入学試験に合格した後、令和5年3月末までに、次の①、②、③をすべて満たさないと入学を許可しません。

- ① 3年次までに修得する必要がある必修科目の全てを修得すること。
- ② 修得した選択科目を含め卒業要件単位数の90%以上の単位を修得すること。
- ③ 修得単位中の点数評価80点以上に相当する単位が専攻ごとに定める割合（別表参照）に達すること。

※注意事項

⑨の出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。したがって、大学の学部を卒業していることを要件と定められている種々の国家試験等の資格試験は受験できなくなるので注意してください。

別表

専攻名	修得単位中の点数評価80点以上に相当する単位の割合	
	出願時	令和5年3月末
数理学	95%以上	95%以上
物質地球科学	95%以上	95%以上

(2) 社会人特別選抜

(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、入学予定年月までに、上記①～⑧までの資格を取得後3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職（企業等）している者とします。

(1)の⑩の社会人特別選抜に出願できる者は、3年以上の社会的経験を持ち、入学後も在職（企業等）している者とします。

(3) 社会人特別選抜（現職高校教員）

(1)の出願資格の各号のいずれかに該当する者で、入学予定年月までに、上記①～⑧までの資格を取得後沖縄県内で3年以上の教職経験（臨時任用期間を含む）を有する、原則として45歳以下の者で、入学後も在職している者とします。

(1)の⑩の社会人特別選抜（現職高校教員）に出願できる者は、沖縄県内で3年以上の教職経験（臨時任用期間を含む）を有する、原則として45歳以下の者で、入学後も在職している者とします。

(4) 外国人留学生特別選抜

次の各号のすべてに該当する者とします。

- ① 日本の国籍を有しない者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者、又はこれと同等以上の学力があると本研究科が認めた者（下記事前審査参照）
- ③ 修学に必要な日本語の学力を有している者

出願資格②に関する注意

②における「これと同等以上の学力があると認めた者」とは、本研究科において、個別の入学資格審査

により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和5年3月31日までに22歳に達する者のことです。

(事前審査)

上記「出願資格②に関する注意」により出願する者は、出願資格の事前審査を受ける必要があります。

事前審査書類提出期間	令和5年1月4日(水)～令和5年1月6日(金)
事前審査書類提出場所	理学部学務係(理学部本館C217)

※出願資格審査の結果は、令和5年1月13日(金)付けで本人宛に通知します。

◎ 必要書類

- 1 事前審査申請書
- 2 最終出身学校卒業・修了証明書
- 3 最終出身学校成績証明書
- 4 研究・教育歴証明書(研究・教育内容要旨を含む)
なお、参考資料として、研究業績を説明する資料や特許・実用新案取得書類、技能検定認定証明書等を添付してもよいです。
※「外国において15年の課程を修了した者で、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間(おおむね1年以上とする)研究に従事しており、令和5年3月31日までに22歳に達するもの」を含みます。

3 出願期間

令和5年1月16日(月)から1月20日(金)までです。

- (1) 受付時間は、9:00～17:15(但し、12:00～13:00を除く)です。
- (2) 郵送の場合は必ず書留速達とし、1月20日(金)17:15までに到着分のみ受理します。なお、出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください(8ページの6 出願書類請求, 問い合わせ及び提出先 参照)。
- (3) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。

4 出願手続

出願者は、下記の書類を琉球大学理学部学務係へ提出してください。

なお、入学志願書等は、琉球大学理学部ホームページ(https://www.sci.u-ryukyu.ac.jp/?page_id=39)からダウンロードしたものを使用することも可能(印刷は必ずA4サイズとし、入学志願書(履歴書)・研究計画概要・研究業績報告書については、両面印刷で出力すること)です。

出願書類を郵送する場合は、封筒に「大学院入学志願書」と朱書してください(8ページの6 出願書類請求, 問い合わせ及び提出先 参照)。

(1) 一般選抜

- ① 入学志願書, 受験票 本学所定の用紙を用いること。
- ② 卒業証明書又は卒業見込証明書 出身大学長(学部長)が作成したもの。
- ③ 成績証明書 出身大学長(学部長)が作成したもの。
- ④ 学位を取得していることを証明する書類[2 出願資格の⑧に該当する者]。
- ⑤ 数理科学専攻を志望する者は、卒業研究又は、それに相当する学習内容をA4版レポート用紙5枚程度にまとめたものを提出すること。

- ⑥ 写真2葉 出願前3カ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向き（縦5cm×横4cmの枠内に収まる任意のサイズ）とし、受験票と入学志願書に貼付すること。
- ⑦ 受験承諾書 現在ほかの大学院に在学中の者又は在職中の者は、その長の受験承諾書を必要とするので、本学所定の用紙を用いること。
- ⑧ 返信用封筒（受験票郵送希望者のみ） 長3封筒（縦23cm×横12cm）に344円分の切手を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。
- ⑨ 志願者整理票 本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。
- ⑩ 検定料納付証明書（大学用） 検定料30,000円（別添の「検定料振込書」を使用すること）

検定料振込期間：令和5年1月13日（金）～1月20日（金）

※特例措置対象者（6ページの3）災害等による入学検定料の特例措置について参照）は、検定料を振り込まず、申請手続きを行ってください。

1) 振込方法

ア. 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》

イ. 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。

エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。

オ. 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振り込んでください。

振込依頼人氏名は、先に募集区分（**431**）、次に志願者本人氏名としてください。

例 431 タイカク タロウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

2) 留意事項

ア. 検定料が振り込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。

イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

i 検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了、又は書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

ii 誤って検定料を二重に振り込んだ場合

iii 特例措置対象者（6ページの3）災害等による入学検定料の特例措置について参照）が検定料を振り込んだ場合

※上記 i 又は ii に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、

払い戻しの理由を選択、氏名欄へ押印の上、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して以下の送付先へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください）。

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。）

※上記 iii に該当する場合は、返還手続（6ページの2. 申請の方法 参照）を行ってください。

送付期限： 令和5年3月31日（金）

送付先： 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL 098-895-8058

3) 災害等による入学検定料の特例措置について

琉球大学では、大学院入学者選抜試験に関して、文部科学省より配慮依頼がある災害の被災者の経済的負担を軽減し受験機会を確保するため、次のとおり検定料免除の特例措置を実施します。

1. 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類（写し可）
災害救助法が適用されている地域のうち文部科学省から配慮依頼がある災害で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア. 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ. 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

2. 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、罹災（りさい）証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないでください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて理学部学務係へ申請してください。申請後、検定料を返還します（払い戻しの理由は「4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当」を選択してください）。

※返還金払戻請求書の提出期限は、令和5年3月31日（金）までとします。

提出先： 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学 理学部学務係 電話 098-895-8595

(2) 社会人特別選抜

入学志願者は令和5年1月13日（金）までに、必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

なお、社会人特別選抜を希望する者は、前項（1）の①②③④⑥⑦⑧⑨⑩の書類のほか、次の書類を提出してください。

⑪ 研究計画概要 本学所定の用紙を用いること。

⑫ 研究業績報告書 卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要を本学所定の用紙にまとめて提出すること。

(3) 社会人特別選抜（現職高校教員）

入学志願者は令和5年1月13日（金）までに、必ず志望専攻の予定指導教員との面談を行い、修学条件等について十分確認のうえ出願してください。

なお、社会人特別選抜（現職高校教員）を希望する者は、前項（1）の①②③④⑥⑦⑧⑨⑩の書類のほか、次の書類を提出してください。

- ⑪ 研究計画概要 本学所定の用紙を用いること。
- ⑫ 研究業績報告書 卒業論文、研究報告書、学術論文の業績を有する者は、その概要を本学所定の用紙にまとめて提出すること。

(4) 外国人留学生特別選抜

志願者は、志望する専攻の専攻主任と相談のうえ、下記の①～⑩までの出願書類を取り揃えて、出願期間内に提出してください。

- ① 入学志願書、受験票 本学所定の用紙を用いること（入学志願書が他の選抜と異なることに注意）。
- ② 卒業証明書又は卒業見込証明書 出身大学に係るもの。
- ③ 成績証明書 日本語訳を添付すること。
- ④ 在留資格を証明するもの 日本国内に居住している者は、住民票の写し等を提出すること。日本国内に居住していない者は、パスポート等の写しを提出すること。
- ⑤ 日本語力調査書 本学所定の用紙を用いて、公的機関の作成したもの（国費外国人留学生は不要）。
- ⑥ 受験承諾書 現在ほかの大学院に在学中の者又は在職中の者は、その長の受験承諾書を必要とするので、本学所定の用紙を用いること。
- ⑦ 写真2葉 出願前3カ月以内に撮影した上半身脱帽の正面向き（縦5cm×横4cmの枠内に収まる任意のサイズ）とし、受験票と入学志願書に貼付すること。
- ⑧ 返信用封筒（受験票郵送希望者のみ） 長3封筒（縦23cm×横12cm）に344円分の切手を貼付し志願者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ提出すること。
- ⑨ 志願者整理票 本学所定の志願者整理票に記入のうえ提出すること。
- ⑩ 検定料納付証明書（大学用） 検定料30,000円（別添の「検定料振込書」を使用すること）
国費外国人留学生については、入学検定料、入学料及び授業料を徴収しない。ただし、入学検定料については、出願時において、令和5年4月1日以降も国費外国人留学生としての身分を有する者に限る。

5 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 出願後、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。
- (3) 入学志願書で届け出た本人への連絡受信場所、あるいは志願者整理票で届け出た合格通知書、入学手続書類の送付先が変更になった場合は、速やかに理学部学務係に連絡してください（8ページの6 出願書類請求、問い合わせ及び提出先 参照）。
- (4) 志願者は、出願前に志望研究室の担当教員と連絡を取ってください。
- (5) 海洋自然科学専攻の「第二志望」について
 - ① 化学系と生物系にまたがって志願することはできません。
 - ② 生物系では第一志望講座のみを記入してください。

6 出願書類請求、問い合わせ及び提出先

琉球大学理学部学務係（理学部本館C 2 1 7）〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

電話 098 - 895 - 8595（直通） FAX 098 - 895 - 8587

E-mail: rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

募集要項の郵送希望者は返信用封筒（角型 2 号 3 3 cm × 2 4 cm）に 2 5 0 円分の切手（速達希望者は 5 1 0 円分の切手）を貼付し、宛先（郵便番号、住所、氏名）を明記の上同封し、上記へ請求してください。

7 入学者選抜方法

※ 新型コロナウイルス感染拡大によっては、選抜方法の変更や日程の繰り下げも考えられます。

更新情報は、変更の有無を含めて、理学部 Web サイト (<https://www.sci.u-ryukyu.ac.jp>) に掲載又は入学志願書に記載のある志願者の連絡先へお知らせしますので随時確認をお願いします。

(1) 一般選抜

入学者選抜は、学力検査、面接、出身大学の成績証明書の結果を総合して行います。

① 試験科目及び期日、時間

専攻名	期日	試験科目		試験時間	集合時間
数理学	2月16日(木)	〔専門科目〕 出願時に提出したレポートに基づいて口頭試問を行う		9:00～	8:40
物質地球科学	2月16日(木)	物理系	〔専門科目〕 物理学	9:00～ 13:00	8:40
			〔外国語〕 英語（辞書（英和・和英・英英）の使用を認める。ただし電子辞書を除く）	14:00～ 16:00	
		地学系	〔専門科目〕 地球科学	9:00～ 12:00	8:40
			〔外国語〕 英語（辞書の使用を認めない）	14:00～ 16:00	

② 面接の期日（物質地球科学のみ） 2月17日（金）

集合時間、場所は2月15日（水）12:00までに理学部本館玄関前及び理学部公式ホームページに掲示します。

③ 学力検査及び面接会場

琉球大学理学部

(2) 社会人特別選抜

社会人の入学者選抜は、書類審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して行います。

面接（口述試験を含む）の日時及び試験場

専攻名	期日	科目	時間	集合時間	場所
数理科学	2月16日(木)	面接	9:00～	8:40	理学部
物質地球科学	2月17日(金)	面接	10:00～	9:40	理学部

(3) 社会人特別選抜（現職高校教員）

社会人（現職高校教員）の入学選抜は、書類審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して行います。

面接（口述試験を含む）の日時及び試験場

専攻名	期日	科目	時間	集合時間	場所
数理科学	2月16日(木)	面接	9:00～	8:40	理学部
物質地球科学	2月17日(金)	面接	10:00～	9:40	理学部

(4) 外国人留学生特別選抜

入学選抜は、学力検査、面接、出願書類の審査を総合して行います。

学力検査及び面接の期日、試験科目、試験時間、試験場

専攻名	期日	試験科目	試験時間	集合時間	場所
数理科学	2月17日(金)	語学試験（日本語）	9:00～10:00	8:40	理学部
		口述試験、面接	13:30～		
物質地球科学	2月17日(金)	語学試験（日本語）	9:00～10:00	8:40	理学部
		口述試験、面接	13:30～		
海洋自然科学	2月17日(金)	語学試験（日本語）	10:00～11:00	9:40	理学部
		口述試験、面接	13:30～		

8 受験に関する注意事項

試験室及び受験生控室については、2月15日(水)12:00までに理学部本館玄関前及び理学部公式ホームページに掲載します。

※試験開始後30分を超えて遅刻した者には、試験を行いません。

9 合格者発表

合格者は、以下の日時に理学部本館玄関前及び理学部公式ホームページに告示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

令和5年3月3日(金) 11:00

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続期間等については、合格者に対して「入学手続案内」を令和5年3月上旬に送付します。

(志願者整理票で届け出た合格通知書、入学手続書類の送付先が変更になった場合には、速やかに理学部学務係に連絡してください。8ページの6 出願書類請求、問い合わせ及び提出先 参照)。

(2) 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」で通知します。

- ① 入学料 282,000円(予定)
- ② 授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)(予定)

(注) i 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

ii 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

iii 入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者(対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。)は所定の申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

(3) 入学手続書類提出先

琉球大学理学部学務係(理学部本館C217)

11 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象に、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修させて学位の取得ができるようにする制度です。申請に基づき、研究科が審査し、最長4年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することになります。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の2年間(4学期)の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する学生は、事前に予定指導教員と長期履修の必要性、履修計画を相談し、承諾を得て入学手続期間内に申請してください。

12 個人情報の取り扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次の通り利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理など、修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者および学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除および奨学生選考など、修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

* 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

13 理工学研究科社会人特別選抜について

1. 趣旨

地域の社会・生活構造の急速な変化が進みつつある中で、特に社会人において理工学的な専門知識・資格を求める声が強くなっています。本研究科ではそのような社会人に門戸を開くために、大学院設置基準第14条の規定に基づく教育方法の特例を適用します。

2. 教育方法等

(1) 修業年限

特例に基づく理工学研究科博士前期課程（修士）の修業年限は2年です。

(2) 履修方法

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の趣旨を積極的に活用し、職業を有する社会人学生の履修上の便宜を図るため、2年間の全期間にわたって以下の履修方法を採用します。

- ① 社会人教育に対しては、通常の間時間帯のほか、特例による授業時間帯を設け、両授業時間帯において、課程修了に必要な単位（30単位以上）を履修できるものとします。
- ② 社会人学生は、履修計画を指導教員の指導のもとに作成するものとします。
- ③ 社会人学生以外の一般学生で指導教員が必要と認めたものについては、上記の特例に基づいて開設される授業科目を履修し、課程修了に必要な単位に含めることができます。

(3) 授業の実施方法

上記特例による授業時間帯は、原則として、夜間に2時限（18:00～21:55）設定できます。
なお、場合によっては土曜日及び特定の時期に設定することもあります。

3. 注意事項

志願者の研究内容によっては、本学に適切な指導者がいない場合があり、また専攻によっては、1年目は昼間において課程修了に必要な単位を履修し、2年目は夜間において修士論文の作成のための研究を行うこともあるので、必ず出願前に志望専攻の予定指導教員に問い合わせてください。

専攻別試験科目の主な出題範囲

数理科学専攻

講 座 名	主 な 出 題 範 囲 (科 目)
基礎数理学 数理解析学 情報数理学	口頭試問（出願時に提出されたレポートに関する事）

物質地球科学専攻

講 座 名	主 な 出 題 範 囲 (科 目)
物質基礎学 物質情報学	力学，電磁気学，量子力学，熱・統計力学
海洋地圏科学 海洋水圏科学	海洋地質学，堆積学，地震学，岩石鉱物学，地球惑星物理学， 地質・古生物学，力学，電磁気学，流体力学，物理数学，地形学

海洋自然科学専攻

講 座 名	主 な 出 題 範 囲 (科 目)
分子機能化学 解析化学 海洋化学	物理化学・有機化学，無機化学・分析化学
進化・生態学 熱帯生命機能学 海洋生物生産学 熱帯生物科学	生態学，分類・形態学，細胞・遺伝学，生理生化学，水産生物学，サンゴ礁学

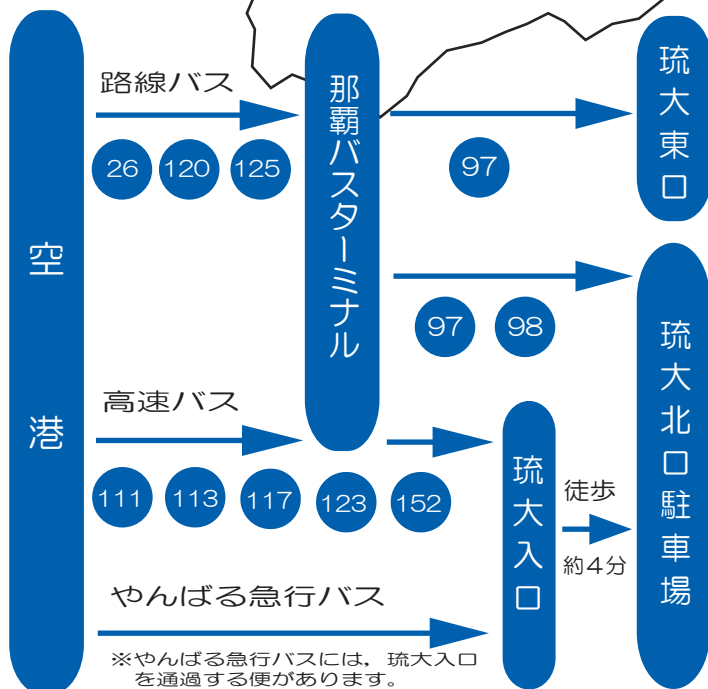
琉球大学大学院理工学研究科概要

専攻	講 座	研 究 内 容
数理科学専攻	基礎数理学	整数論, 代数学, 幾何学, 位相幾何学
	数理解析学	近似理論, 作用素環論, 関数空間論, 特殊関数論, 超局所解析
	情報数理学	数理統計学, 情報数学, 応用代数学, 確率過程論, 組合せ論
物質地球科学専攻	物質基礎学	素粒子論, 場の理論, 宇宙論, 宇宙物理学, 磁性理論, 固体物性論, 多体問題, 強相関物理学, 物性基礎論, 数理物理学
	物質情報学	磁性, 強相関電子系, 輸送現象, 核磁気共鳴, 高分子物理学, X線回折, 誘電体, 計算物理学, 中性子散乱, 構造不規則系, 表面・界面物性理論
	海洋地圏科学	海洋地質学, 火成岩岩石学, 固体地球物理学, サンゴ礁地質学, 進化古生物学, 同位体地球化学, 放射線地学, 変成岩岩石学, 地形学
	海洋水圏科学	気象学, 海洋地球物理学, 海洋物理学, 海洋微古生物学
海洋自然科学専攻	分子機能化学	レーザー分光計測, 有機合成化学, 立体化学, 分子光化学, 錯体化学 分子分光学, 生態相関物質化学, 機能材料化学
	解析化学	分析化学, 有機金属化学, 水素貯蔵材料科学, 触媒化学
	海洋化学	地殻内部水圏化学, 環境分析化学, 海洋生態化学, 大気化学
	進化・生態学	陸域生態系機構学, 植物系統進化学, 植物生態学, 島嶼生態学, 植物分類学, サンゴ礁生物生理生態学, 海洋環境学, 動物生態学, 動物系統進化学
	熱帯生命機能学	サンゴ生物学, 細胞生物学, 分子生理学, 植物生理学, 環境適応生理学, 無脊椎動物形態学
	海洋生物生産学	海洋生産学, サンゴ礁生物学, 水産生物学, 藻類学, 海洋動物行動学, 魚類学, 魚介類分子集団遺伝学, 比較内分泌学
熱帯生物科学	生殖生物学, サンゴ礁生態学・保全生物学, サンゴ礁病理学, 分子細胞機能学, 昆虫ゲノム解析学, 動物系統学, 生物地理学, 植物形態学, 無脊椎動物分類学, 熱帯生物進化学, 微生物学	

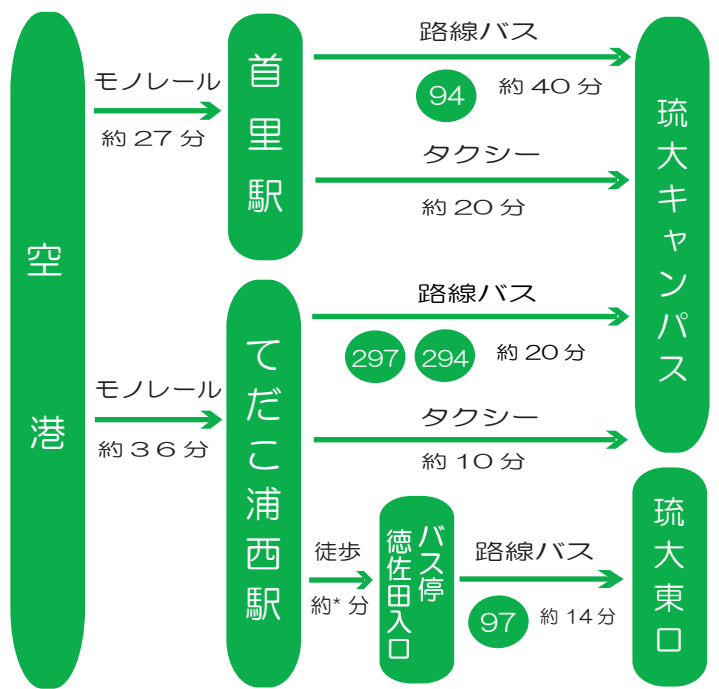
琉球大学案内図



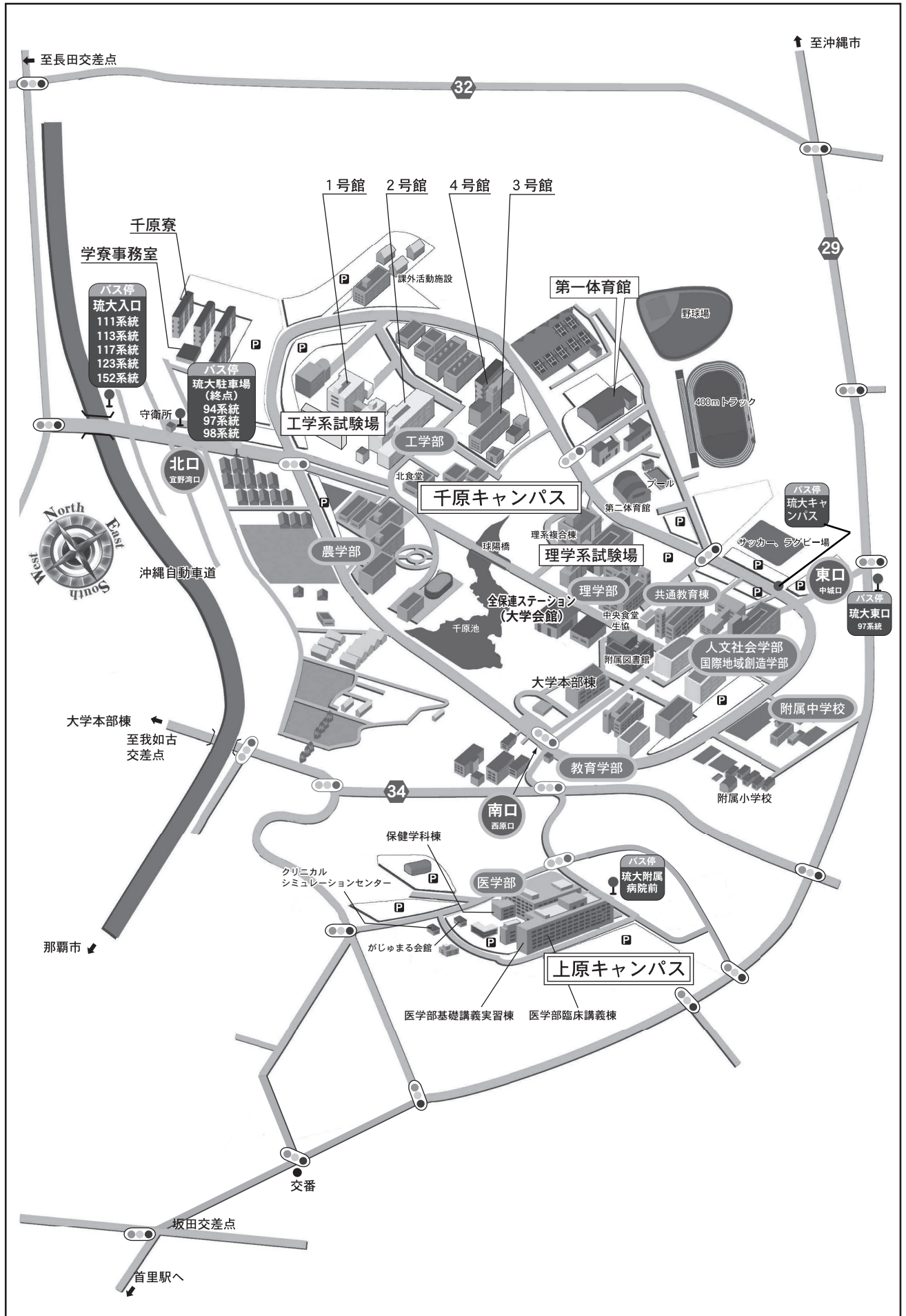
空港からバスで琉球大学へ



空港からモノレールで琉球大学へ



試験場案内図



令和5年度 琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

※ 受験番号
(記入しないこと)

<h2 style="margin: 0;">入学志願書（第2次募集等）</h2> <p style="margin: 0;">貴大学院理工学研究科(博士前期課程)の入学希望につき, 所定の書類を添え出願します。 令和 年 月 日</p> <p style="margin: 0;">琉球大学長 殿</p> <p style="margin: 0; text-align: center;">氏名</p>		<p style="margin: 0;">写真貼付</p> <p style="margin: 0;">正面向き上半身 脱帽3カ月以内 に撮影したもの (枠内に収まるサイズ)</p>	
<p style="margin: 0;">選 抜 区 分 (該当事項を○で囲む)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般選抜 2. 社会人特別選抜 3. 社会人特別選抜（現職高校教員） 		
志 望 専 攻 名		志 望 講 座	
専 攻		第 1	
		第 2	
氏 名		性 別	生 年 月 日
(フリガナ)		男 女	昭和・平成 年 月 日生 (満 才) 令和5年4月1日現在
本 籍 地 (外国人の場合は国籍名)		(都道府県のみ記入)	
保 護 者 等	氏 名	続 柄	
	現住所	TEL	
本人への連絡受信場所		(携帯) (E-mail)	
出 願 資 格		昭和・平成・令和 年 月 大学 学部 学科 (卒業・卒業見込)	

- 備考 (1) 願書記入の際は, 募集要項を熟読の上, 記入漏れのないようにすること。
 (2) 履歴事項は, 裏面に記入すること。
 (3) 連絡受信場所が変更になった場合には, 速やかに理学部学務係に連絡すること。

履 歴 書

	年 月	事 項
学 歴 高等学校入学以降 について記入し、見 込も記入すること。 なお、外国人留学 生は小学校から記入 し、大学等で研究生 等として在学歴があ る場合は、その期間 も記入すること。	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
	・	
職 歴	・	
	・	
	・	
	・	
賞 罰	・	
	・	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

令和5年度 琉球大学大学院理工学研究科 (博士前期課程)

※ 受験番号
(記入しないこと)

<h2 style="margin: 0;">入学志願書</h2> <p style="margin: 0;">(外国人留学生特別選抜)</p> <p style="margin: 0;">貴大学院理工学研究科(博士前期課程)の入学希望につき, 所定の書類を添え出願します。</p> <p style="margin: 0; text-align: right;">令和 年 月 日</p> <p style="margin: 0;">琉球大学長 殿</p> <p style="margin: 0; text-align: center;">氏名</p>		<p style="margin: 0;">写真貼付</p> <p style="margin: 0;">正面向き上半身 脱帽3カ月以内 に撮影したもの</p> <p style="margin: 0;">(枠内に収まるサイズ)</p>	
志望専攻名			
受験科目名	<p style="margin: 0;">1. 数 理 科 学 専 攻 : ①語学試験(日本語) ②口述試験, 面接</p> <p style="margin: 0;">2. 物 質 地 球 科 学 専 攻 : ①語学試験(日本語) ②口述試験, 面接</p> <p style="margin: 0;">3. 海 洋 自 然 科 学 専 攻 : ①語学試験(日本語) ②口述試験, 面接</p>		
氏 名		性別	生 年 月 日
(フリガナ)		男 女	昭和・平成 年 月 日 西暦 (19 年) (満 才) 令和5年4月1日現在
国 籍			
保護者等	氏 名	続柄	
	現住所	TEL	
本人への連絡受信場所		〒 — (TEL) (E-mail)	
出 願 資 格		昭和・平成・令和 年 月 大学 学部 学科 (卒業 ・ 卒業見込)	

- 備考 (1) 願書記入の際は, 募集要項を熟読の上, 記入漏れのないようにすること。
- (2) 履歴事項は, 裏面に記入すること。
- (3) 連絡受信場所が変更になった場合には, 速やかに理学部学務係に連絡すること。

履 歴 書

	年 月	事 項
学 歴 小学校から記入し、 大学等で研究生等 として在学歴がある 場合は、その期間 も記入すること。 見込みも記入する こと。	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
	•	
職 歴	•	
	•	
	•	
	•	
賞 罰	•	
	•	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名

令和5年度

琉球大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

受験票（第2次募集等）

選抜区分 (該当事項を○で囲む)	1. 一般選抜 2. 社会人特別選抜 3. 社会人特別選抜（現職高校教員） 4. 外国人留学生特別選抜		
※受験番号 (記入しないこと)			
フリガナ 氏名			性別
			男・女
志望専攻及び 志望講座	志望専攻名	志望講座	
	専攻	第1	
		第2	
注意事項 (1) 受験生控室又は試験室には、指定された集合時刻までに入室すること。 (2) 試験開始後30分を超えて遅刻した者には、試験を行わない。 (3) 不正行為のあった者は、直ちに退場を命ずる。 (4) 受験に際しては、本票を必ず持参すること。	写真貼付 正面向き上半身脱帽 3カ月以内に撮影したもの (枠内に収まるサイズ)		

日本語力調査書（外国人留学生）

志願者氏名 _____ 生年月日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

志願者住所 _____

志願者の母国語 _____

*該当する事項の番号を○印で囲む。

I. 聴 解 力

1. 理解できない。
2. ゆっくりはっきり話せば理解できる。
3. まあまあ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

II. 会 話 力

1. 少しも話せない。
2. 意志の伝達はできる。
3. ある程度話せる。
4. すらすら話せる。

III. 読 解 力

1. 全く理解できない。
2. やや理解できる。
3. おおよそ理解できる。
4. じゅうぶん理解できる。

IV. 作 文

1. 全く書けない。
2. やさしい文章は書ける。
3. まとまった文章が書ける。
4. 論理的な文章が書ける。

V. その他ご意見がありましたらご記入下さい。

以上の通り調査報告致します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

調査者勤務先 _____

調査者職名 _____

調査者氏名（自署） _____ 印

注：この調査書は、高等学校又は大学において日本語を教授している者、政府又は公共団体の責任ある職員にあつて日本語を十分理解できる者、又は各国在日本大使館職員によるものでなければならない。

研究計画概要

社会人特別選抜用

氏名		志願理由も含めて以下にまとめること。

受 験 承 諾 書

令和 年 月 日

琉球大学大学院理工学研究科長 殿

受験者の職名

フリガナ
氏 名

上記の者が、貴大学院理工学研究科に受験することを承諾します。

氏 名 印

本人との関係

事業所等

現 住 所 〒 —

電 話 — —

令和5年度

琉球大学大学院理工学研究科(博士前期課程)

入学試験出願資格事前審査申請書

琉球大学大学院理工学研究科(博士前期課程)の入学資格事前審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

※出願資格該当事項を○で囲んでください。

出願資格		(1)-⑧	(1)-⑩	(4)-②
氏名	印	生年月日	年 月 日生 (満才) 令和5年4月1日現在	
住所			現職	
TEL	E-mail			
志望専攻	志望講座		希望指導教員	
学歴(高校卒業時から記入すること。)				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
職 歴				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
研究・教育歴(研究・教育歴証明書を添付すること。)				
年 月 日	事 項			

※受験番号（記入しないこと）：

（大学院理工学研究科入試用）

検定料免除申請書

令和 年 月 日

琉球大学長 殿

（請求者）

出願先 _____

フリガナ
志願者氏名 _____ 印

住 所 _____

電 話 _____

下記のとおり被災しましたので、罹災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

返還金払戻請求書

琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号

私が令和 年 月 日に納付した検定料 円について、以下の理由により払戻を請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 災害等による入学検定料の特例措置に該当
5. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ			保護者名義の場合の続柄
口座名義			
取引金融機関名 本・支店名	銀行	支店	
預金種別	1 普通	2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヵ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。

※払戻理由のうち、4. 災害等による
入学検定料の特例措置に該当
を選択された場合は貼り付け
不要です。

※各金融機関備付の振込依頼書
で振り込んだ場合は、受領書
をご同封ください。

送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

振込上の注意

- 「**検定料振込書**」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については，志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「**検定料納付証明書（大学用）**」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。
- 「**検定料納付証明書（大学用）**」は出願書類に同封して提出してください。

検 定 料 振 込 書

（振込前に志願者で切離し）

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日		年 月 日	
金額		¥30,000-	
※振込先 行いずれかの○をかくする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
募集区分	431		
	(フリガナ)		
氏名			
令和5年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（理）博士前期課程 2次			

（大学提出時に切離し）

振込金（兼手数料）領収書			手数料
※依頼日		年 月 日	
振込金額		¥30,000	
※振込先 行いずれかの○をかくする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711	
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358	
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859	
受取人口座名		国立大学法人 琉球大学	
氏名	(フリガナ)		
令和5年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（理）博士前期課程 2次			

上記のとおり領収しました。

（振込時金融機関で切離し）

振込依頼書

電信扱

※依頼日		年 月 日		振込指定	電信扱	手数料	勘定科目	
※振込先 行いずれかの○をかくする	琉球銀行宜野湾支店（普通）	428711		金額	¥30,000			
	沖縄銀行我如古支店（普通）	1540366			内訳	現金		
	沖縄海邦銀行真栄原支店（普通）	0563358						
	みずほ銀行那覇支店（普通）	1478859						
口座受取人	コクリツダ イガクコリジシ ヲリキョウダ イガク 国立大学法人 琉球大学							
募集区分	431		※フリガナ					
	※氏名							
※(住所)	(電話番号)							
	令和5年度 琉球大学 検定料 理工学研究科（理）博士前期課程 2次 【振込期間】 令和5年1月13日（金）から 令和5年1月20日（金）まで							

取扱店へのお願
い
○太枠内を打電してください。
○募集区分、フリガナの順に打電してください。

取扱金融
機関
収納印



（取扱店→振込人→大学）

（取扱店→振込人）

（取扱店用）

志願者整理票

※ 印欄は記入しないこと。

琉球大学大学院理工学研究科 (博士前期課程)

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ)	性別	男・女	出身大学・学部	志望講座名
	氏名	出身大学所在 都道府県名		学 科	
※		男・女			

(注1) 出身大学が外国の場合は、「出身大学所在都道府県名」の欄に国名を記入すること。

(注2) この整理票は、シールになっているので、はがれないように取り扱うこと。

合格通知書送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

○右の記入欄に送付先住所等を記入してください。	住所 〒	—
	
※受験番号欄については記入不要です。	氏名	殿
	(※受験番号)	

入学手続書類送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

○右の記入欄に送付先住所等を記入してください。	住所 〒	—
	
※受験番号欄については記入不要です。	氏名	殿
	(※受験番号)	
・電話番号は確実に連絡の取れる番号を記入してください。	電話番号	()
	
○こちらの欄は発送の際に使用しますので、記入する必要はありません。	住所 〒	903 — 0213
 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
	氏名	琉球大学理学部学務係
	電話番号	098 (895) 8595
	